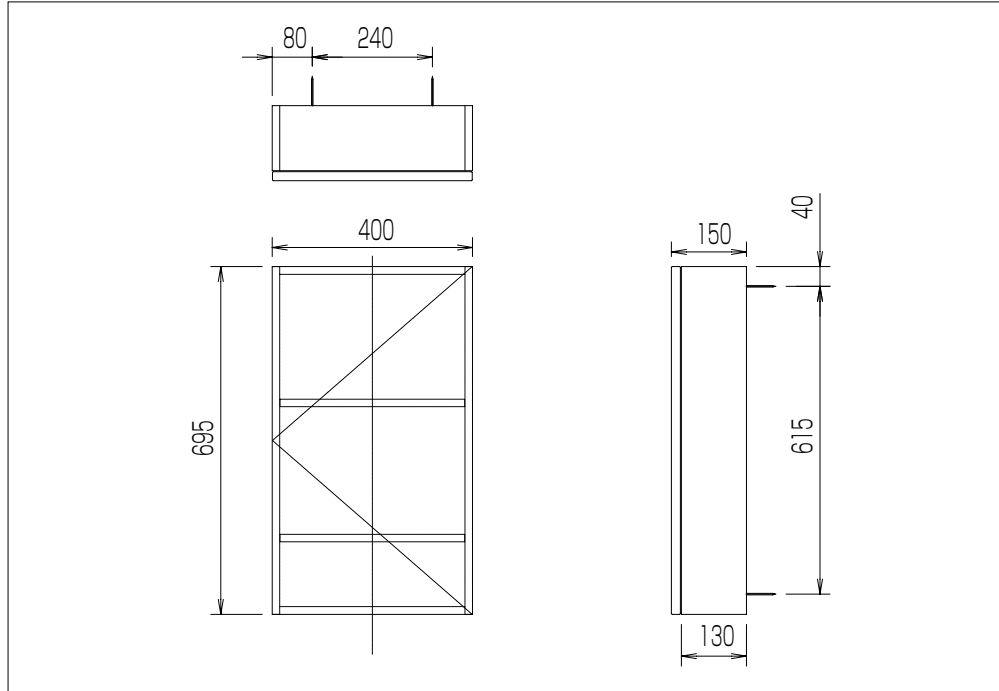


# サイドミドルキャビネット

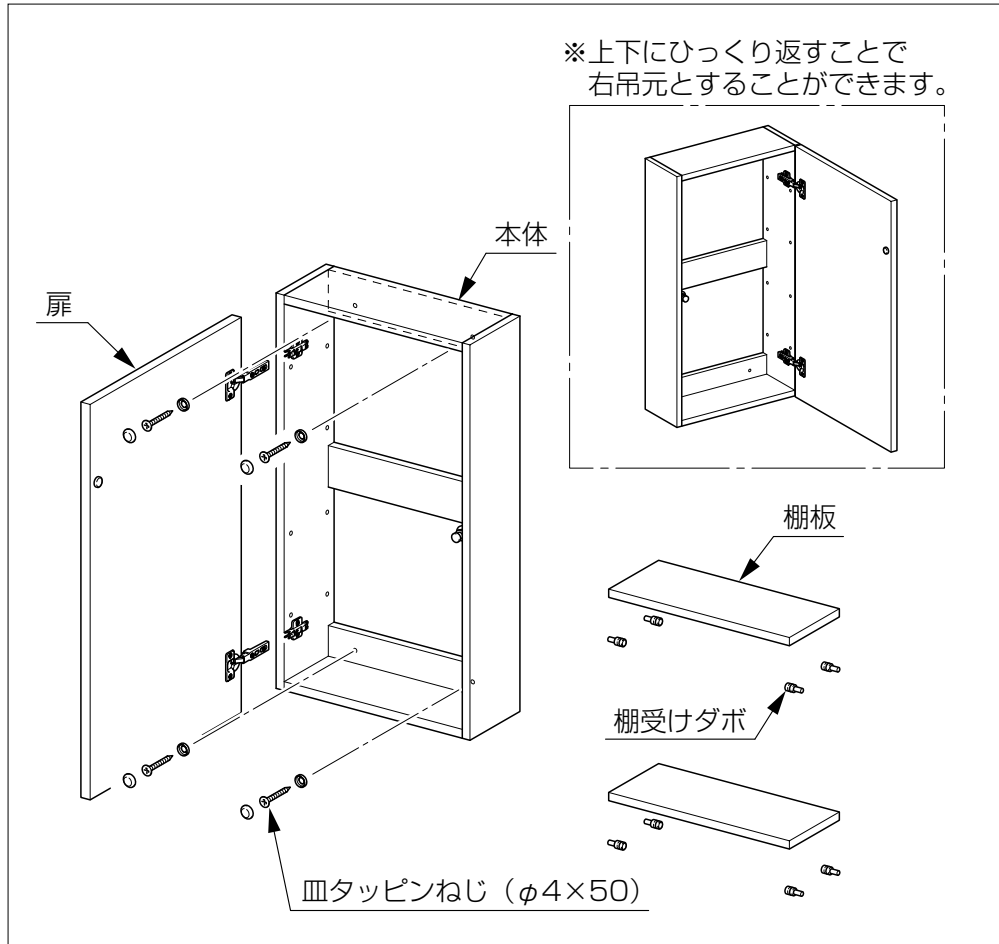
TSF-106U

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

## ●寸法図



## ●各部の名称



## ●同梱部品

部品名	数量
皿タッピンねじ (φ4×50)	4本
連結ワッシャー	4個
化粧キャップ	4個
棚受けダボ	8本
棚板	2枚

## ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまに保管頂くように依頼してください。

## 用語および記号の説明

- 警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- …… 「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
- …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
- …… 「分解してはいけません！」
- …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

## 警告

- 扉の取付けは、本体を壁固定した後に行ってください。  
 ※本体に扉をつけた状態での施工は、スライド蝶番に過大な負荷がかかる原因となり、扉脱落の恐れがあります。
- この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁など）の場合は、キャビネットの取付けはしないでください。  
 ※キャビネットの取付け強度が保てず、落下する恐れがあります。  
 ※必ず取付可能な壁面の壁仕様にしてください。
- 乾式壁への取付けの場合、壁裏に補強木が入っていることを必ず確認してください。  
 ※キャビネットの取付け強度が保てず、落下する恐れがあります。
- スライド蝶番の調整のときは、Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじを絶対にゆるめないでください。  
 ※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。  
 ※破損しケガをする恐れがあります。

## 注意

- 施工完了後は、扉の傾き、ガタツキ、蝶番のゆるみがないことを確認してください。  
 ※扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
- 棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。  
 ※棚板が落下してケガをする恐れがあります。
- ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに置いて使わないでください。  
 ※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。  
 ※変色や変形の恐れがあります。
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用して拭かないでください。  
 ※変形や変色の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）
- 木製品のため浴室および湿気の多い場所の設置は避けてください。

落下防止バーや、棚のふちに落下防止の段差がないため、陶器製の手洗器、洗面器の上に設置しないでください。硬くて重いものが落下した場合、手洗器や洗面器が割れてケガなどの恐れがあります。

## ●施工前のご注意

- 落下事故防止のため、取付部材や取付壁面の構造等については以下の取付条件を守ってください。

### 【補強木、仕上材の厚みの確認】

- キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取り付けはしないでください。
- 補強木の柱や、間柱へのネジ等取付け部材は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。

### 【壁の不陸について】

- キャビネット取付壁面の不陸は3mm/1m以下であることを確認してください。（本体を壁に押し当て、壁とのすき間が1mm未満であることを確認してください。）

#### お願い

キャビネット取付壁面の不陸が3mm/1mを越える場合は施工しないでください。

※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

## ●施工方法

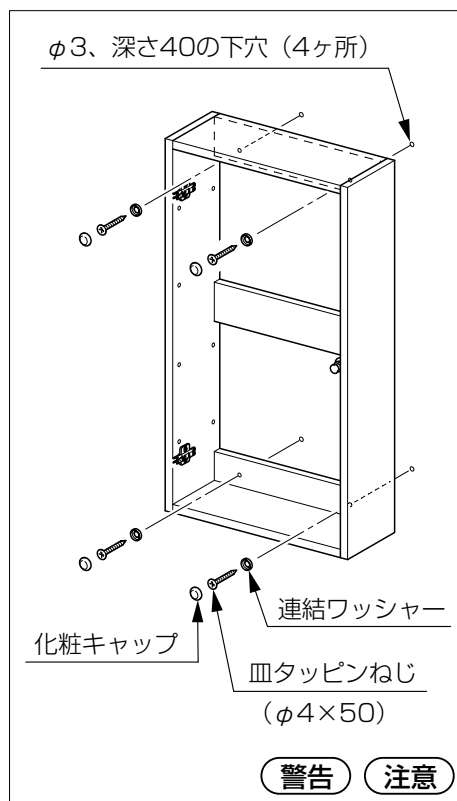
- (1)キャビネット本体を壁に当てて位置決めし、下穴をあけてネジ固定します。

### 警告

扉の取付けは、本体を壁固定した後に行ってください。  
※本体に扉をつけた状態での壁面取付は、スライド蝶番に過大な負荷がかかる原因となり、扉脱落の恐れがあります。



**注意** 下穴は必ずあけてください。

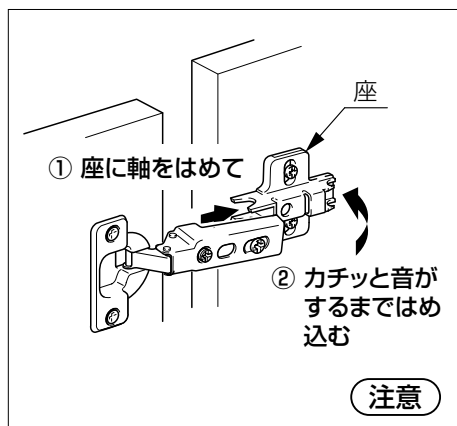


- (2)扉をキャビネット本体に取り付けます。

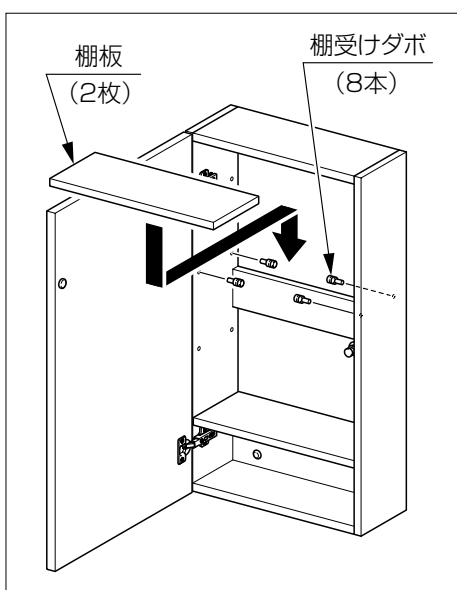
- ①扉側蝶番の軸をキャビネット側の座にはめ込む。
- ②蝶番の奥をカチッと音がするまではめ込む。

**注意** 扉はキャビネット本体に確実に取り付けてください。

※取付け後に扉のズレ、傾きがある時は蝶番を調節してください。（蝶番の調節は●扉の調節の項をご覧ください。）

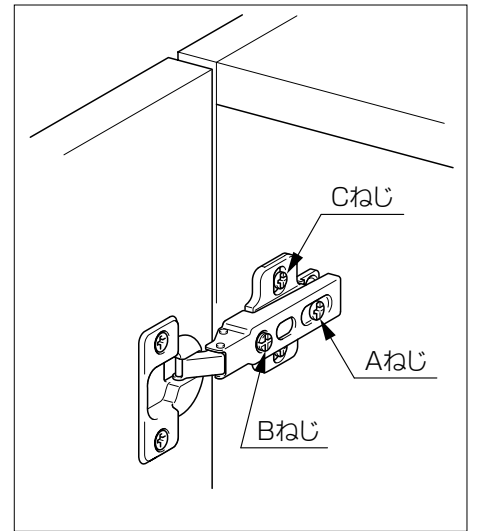


- (3)棚受けダボをキャビネット本体側板に差し込み、棚板を上に乗せます。



## ●扉の調節

- 調節する際は⊕ドライバーをご使用ください。



### 警告

スライド蝶番の調整のときは、Aねじ、Bねじ、Cねじ以外のねじを絶対にゆるめないでください。

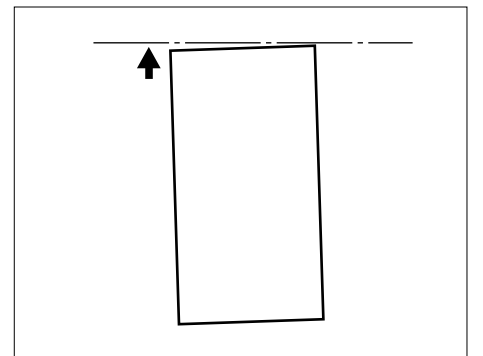
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。



禁止

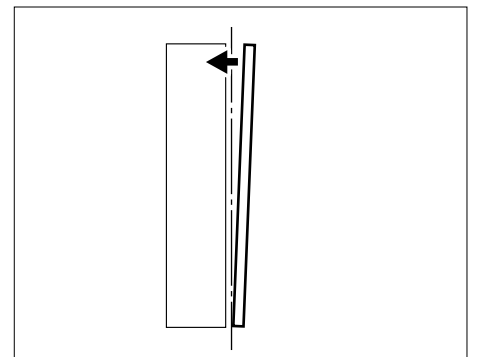
- (1)扉の先端を上にも上げるとき

- ①扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②をくり返します。



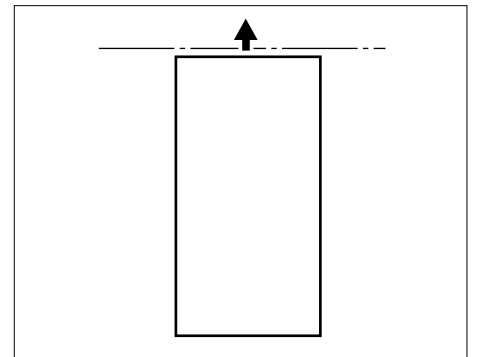
- (2)扉と側板のすき間が上下違うとき

- ①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
- ②正しい位置でAねじを右へ回して、しっかり締めます。



- (3)扉の高さが上下にずれているとき

- ①扉上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
- ②正しい位置でCねじを右へ回して、しっかり締めます。



## ●施工後の確認

- キャビネット本体にガタツキがないことを確認してください。
- 扉のスライド蝶番が確実に台座にロックされているか確認してください。